

妊娠中・産後にお困りの方

- 妊娠が分かったら…(届出先や届出方法などについて)
- 妊娠中の健康についての悩みや困りごとがあったら…
- 赤ちゃんや育児についての悩みや困りごとがあったら…
- 子どもの健康や予防接種に関するわからないことは…

**子ども保健福祉課
母子保健係**
市総合会館 3階
Tel.059-354-8187

保育園や幼稚園の利用を考えている方

- 保育園の入園条件や申し込みについて知りたいときは…
- 保育園の保育時間や保育料について知りたいときは…
- 病気や用事等による一時的な保育を利用するには…
- パートや介護等による短時間の保育を利用するには…
- 幼稚園の入園申し込みや各園の特色について知りたいときは…
- 幼稚園降園後の預かり保育を利用するには…

保育幼稚園課
(詳細は各園をご案内します)
市総合会館 3階
Tel.059-354-8172

子育ての相談や支援の利用を考えている方

- 病氣回復期の子ども預かり(病児保育室)を利用するには…
- 援助会員と依頼会員による子育ての相互援助を利用するには…
- 地域で運営する学童保育所について知りたいときは…
- パパの子育てを応援する講座や相談について知りたいときは…
- 各種子育て支援の施設やサービスについて知りたいときは…

**子ども未来課
子育て支援係**
市総合会館 3階
Tel.059-354-8069

- 疾病等で一時的に子どもの養育が困難になったときは…
- 子育ての悩みやひとり親家庭の生活について相談するには…
- 「もしかして虐待?」という疑いを抱いたら…

**子ども保健福祉課
家庭児童相談室**
市総合会館 3階
Tel.059-354-8276

- 「子どもの発達心配」など気になることがあるときや、どのような対処したらいいのか分からないときは…

**子ども保健福祉課
発達総合支援室**
市総合会館 3階
Tel.059-354-8064



そのほか、[四日市市子育てエシジヨ目もご覧ください。](http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu77812.html)
<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu77812.html>

発行 ● 四日市市 編集 ● 子ども未来課 〒510-0085 四日市市誠訪町2番2号 電話 059-354-8038

Fax 059-354-8061 Eメール kodomomirai@city.yokkaichi.mie.jp

059-354-8069

親子同士の交流やふれあいの場を利用したい方

- まだ入園していないが、一度、保育園の「あそぼう会」や幼稚園の「あそび会」に参加してみたいときは…

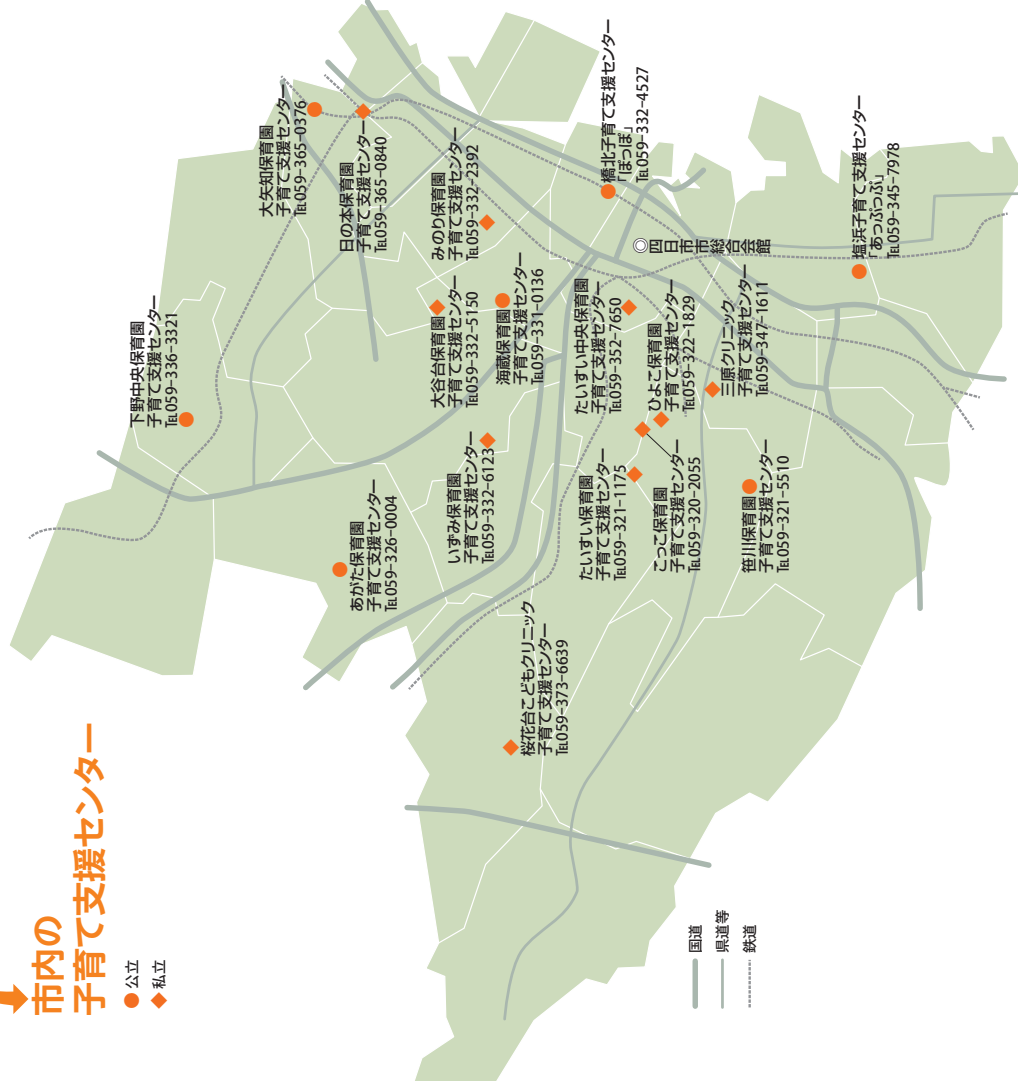
保育幼稚園課
(詳細は各園をご案内します)
Tel.059-354-8087

- 子育て支援センターを利用してみたいが、どうすれば利用できるのか知りたいときは…

子ども未来課
(詳細は各センターをご案内します)
Tel.059-354-8069

市内の子育て支援センター

● 公立
◆ 私立



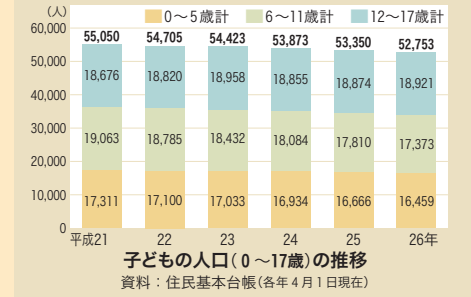
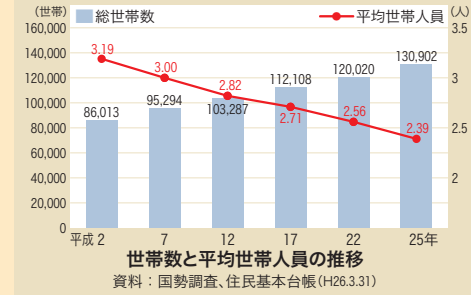
四日市市 子ども・子育て支援事業計画

計画策定の背景

近年における家族構成の変化や地域のつながりの希薄化によって、子育てに不安や孤立感を感じる家庭も少なくなく、また子どもの数の減少とともに、兄弟姉妹の数の減少など、子どもの育ちをめぐる環境も大きく変化しています。

このような状況に対処し、子どもや家庭を支援する新たな仕組みの構築が求められる中、平成24年に「子ども・子育て関連3法」が成立しました。

本市においては、これまで「四日市市次世代育成支援行動計画」に基づく施策の推進に取り組んでまいりましたが、四日市市子ども・子育て支援事業計画は、平成27年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」のもと、子どもの健やかな成長と子育て支援をより一層、総合的かつ計画的に進めるため、策定するものです。



基本理念

子どもと子育てにやさしいまち四日市



基本方針

- 1 子どもの人権を尊重し 子どもの視点にたって 子どもの健やかな成長をはぐくみます
- 2 家庭の子育て力をはぐくみ 子育て家庭を支えます
- 3 地域や社会全体で 男女が共同して 子どもの成長と子育てを支えます

基本目標

- 1 みんなで支えあい 子どもの成長と子育てを支える環境が整ったまち
- 2 親と子が安心して自立した生活を送れるまち
- 3 健康で安心して子どもを産み育てられるまち
- 4 社会全体で子育て家庭を支えるまち

ポイント

低年齢児をはじめとした保育の受入れの拡充



- **定員枠の拡充**
認可保育所の定員枠の拡充を行い、特に低年齢児の受入れを進め、待機児童の解消を図ります。
- **地域型保育事業の創設**
多様な保育ニーズに対応し、少人数単位で低年齢児を預かる「地域型保育事業」を創設し、認可を受けた施設を対象に支援を行います。

	平成25年度 実績	平成31年度 計画(確保の内容)
認可保育所の利用児童数	4,868人 ▶	5,290人
地域型保育事業の利用児童数	—人 ▶	95人

ポイント

発達段階に応じた質の高い就学前教育・保育の提供



- 幼稚園教諭や保育士の継続的な研修や交流等を行い、子どもの育ちにとって重要な人材の育成を図り、資質の向上に努めます。
- 0～5歳児までの一貫した就学前教育・保育カリキュラムを策定するとともに、年齢別カリキュラムに応じた園教育・保育を提供します。
- すべての園で特別支援保育・教育が必要な子どもを受け入れられるよう、保育士や幼稚園教諭の専門性の向上を図り、一人ひとりの特性に応じた保育を行います。

ポイント

子育ての不安や負担、孤立感の解消につながる子育て支援や相談体制、情報提供の充実



- **子育て支援センターの拡充**
親子同士の交流や子育てについての相談、情報提供を行う子育て支援センターを、地域ニーズに合わせて開設します。
- **学童保育所への支援の充実**
利用児童の増加が予想される施設の受け入れ態勢の整備に対する支援を行います。
- **ショートステイ事業、ファミリー・サポート・センター事業の充実**
一時的に養育が困難になったときに子どもを預かるショートステイの受入れや、援助会員と依頼会員による相互の援助活動の充実に努めます。
- **利用者支援事業の開始**
利用者支援専門員を配置し、子育てに関する必要な情報提供等を行って適切なサービスの利用につなげます。

	平成25年度 実績	平成31年度 計画(確保の内容)
子育て支援センターの延べ利用者数	88,850人 ▶	115,508人
学童保育所の利用児童数	1,382人 ▶	2,530人
ショートステイ事業の延べ利用者数	141人 ▶	200人
ファミリー・サポート・センター事業の延べ利用者数	2,996人 ▶	4,933人

ここでは、支援の充実を図る主な取組を紹介します。

4つの基本目標を柱に、「子育て支援センター」をめぐって、支援の充実を図ります。

ポイント

多様化する保育ニーズに対応した提供サービスの拡充



- **延長保育事業の拡充**
多様化する保護者の勤務時間や通勤時間などに対応するため、開所時間を超過して保育を実施する認可保育所を増やします。
- **一時預かり事業の拡充**
保護者の育児疲れや急病等により、一時的に家庭で保育を受けられない子どもを預かる認可保育所の実施園を増やします。
私立幼稚園の通常保育終了後に在園児の一時預かりを実施し、保護者に対する育児支援及び子どもの健全育成を図ります。
- **病児・病後児保育事業の拡充**
保護者の就労等の都合により、病気または病気回復期の子どもを一時的に保育する事業について、医療機関の協力を得ながら、新たな形態も模索しながら検討を進めます。

	平成25年度 実績	平成31年度 計画(確保の内容)
延長保育の利用児童数	194人 ▶	308人
保育園等での一時預かりの延べ利用児童数	6,438人 ▶	11,787人
幼稚園在園児の一時預かりの延べ利用児童数	52,000人 ▶	55,361人
病児・病後児保育の延べ利用児童数	1,650人 ▶	3,300人

ポイント

安心して妊娠・出産できるよう、妊娠期からの途切れのない支援の充実



- **産前・産後サポート事業の開始**
妊産婦の家庭や地域での孤立感や育児不安の解消を図り、安心して赤ちゃんとの生活を送ることができるよう、保健師等が重点的に家庭訪問等による相談支援を行います。
- **親子支援事業「パンダひろば」の開始**
乳児家庭の孤立感を軽減し、また親子の絆づくりと仲間づくりを目的として、生後6か月未満の乳児を持つ保護者を対象にした「パンダひろば」を実施します。
- **不育症治療費助成の新規実施**
妊娠しても流産・死産あるいは新生児死亡を繰り返して、生児を得ることができない不育症で悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の一部を助成します。
- **子ども医療費助成を中学生通院分まで新たに実施**
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの保険診療に係る自己負担分の助成について、中学生の通院にも拡大適用します。(平成27年9月診療分から)

そのほかにも

- 児童発達支援センターあけぼの学園の機能強化に向けた施設の整備を図ります。
- ワーク・ライフ・バランスを進めるために、企業に対し外部講師による出前講座等を実施します。



お問い合わせ先

幼稚園、保育園などのこと	保育幼稚園課	TEL 059-354-8172
学童保育、子育て支援センターなどのこと	こども未来課	TEL 059-354-8069
母子保健などのこと	こども保健福祉課	TEL 059-354-8187
医療費助成などのこと	こども保健福祉課	TEL 059-354-8083
計画全体や新制度などのこと	こども未来課	TEL 059-354-8038